

垂下用筏は孟宗竹長六米及四米のものを以て製作し縦材八本横材八本とし縦材の間隔は約四十五纏を保たしめ十二番線針金を以て縛り八番線針金により石礎に繋留したり

### 八、垂下方法

海綿の切片は種海綿の運搬豫期の成績を纏め得ざりし爲一定の型状をとる能はず大体三乃至四纏立方大として長十五纏のアルミニウム線を貫通し五個を鎖状に連ね一連とし筏の縦材に三分徑棕櫚繩を張り之が一條に十二連六十個都合二連百二十個を垂下したり

### 二、海人草種苗配給試験

海人草に關する試験は専ら投石、磯掃除の方法により蕃殖の途を講じ來りたるものなるが近時縣内各地に於て之が増殖施設を計畫實施するに至りたるを以て本年度に於ては種苗の配給を企劃し從來本場に於て施行したる蕃殖試験地を種苗配給所に充當し次の如く蕃殖試験の傍ら種苗附若石の配付を實施せり

#### 一、蕃殖試験

本年度施行の場所は國頭郡羽地村及島尻郡座間味村の二箇所にして前年度の方法に倣ひ左記の通り投石並に親株移植を施行したり

試験地	施行月日	親株移植數	投石數	備考
羽地村地先	自昭和九年九月十四日 至全 二十九日	二五〇〇株	二、三〇〇個	現在石塊の一部は磯掃除ヲナシ等
座間味村地先	自昭和九年七月二十七日 至全 二十九日	二四〇	九、六〇〇	敵タル海膽掃除ノ方法ヲ講ゼリ

#### 二、種苗配付

國頭郡大宜味村に於て海人草増殖施設として投石の方法を講じたるを以て昭和九年四月羽地配給所より種苗附若石六千三百個を配付したり

### 三、牡蠣養殖試験

前年度に繼續し本年度に於ても種苗を他縣に求め各府縣連絡協定の下に身入生産量調査並に種苗優劣比較試験を施行の事としたるが本年度に